

今週のビルマのニュース
2009年5月15日【0919号】

今週の主なニュース：スーチー氏起訴、刑務所に

・ビルマ軍政は14日、インsein刑務所の特別法廷で民主化運動リーダーのアウンサンスーチー氏を起訴した。6日にインヤ湖で逮捕された米国人男性と接触したことが自宅軟禁の条件違反とされた模様。起訴の根拠は国家保護法22条で、条文によれば有罪とされた場合は3～5年の禁固刑となる。スーチー氏の自宅軟禁期限が今月末に迫っていた。このため、今回の起訴の背景には、来年予定の総選挙を前に、国民の支持を集めている氏の拘束期間を延長したいという軍政の政治的動機がある、との見方が大勢（15日付ロイターほか）。

・事実審理は18日に開始予定。スーチー氏は同様に起訴された同居の女性2人とともにインsein刑務所に収容されている。弁護士による代理が認められているが、裁判所は軍政の支配下にあり、公正な審理は期待できない。氏の起訴と収容について欧米を中心に多数の政府や議員が懸念を表明している。クリントン米国务長官は起訴には根拠がないとし、氏の即時無条件釈放を求めた。国連事務総長も「深刻な懸念」を表明した。ノーベル平和賞受賞者のツツ大司教も「直ちに解放を」と呼びかけた（同上）。

・スーチー氏は先週、脱水症状と低血圧のため点滴治療を受けた。氏の主治医は、米国人男性の侵入が発覚した後の7日に拘束された（11日付AP）。

・インヤ湖を泳いでスーチー氏宅に侵入し、氏と共に起訴された米国人ジョン・ウィリアム・イエトー氏の家族は、イエトー氏に「悪気はなかったはず」などと語った。妻によれば、イエトー氏は昨夏にも湖を泳いでスーチー氏宅敷地に入ったが、スーチー氏とは会えなかった（15日付ワシントン・ポスト）。

その他：IMF：軍政、天然ガス輸出収入で会計操作

・国際通貨基金（IMF）による報告書（非公開、フィナンシャル・タイムズが入手）によれば、ビルマ軍政は天然ガス輸出による多額の収入を公式為替レートで計上している。実勢レートで計上すれば2007～08年の国家歳入の57%を占めるはずが、公式レート使用では1%にも満たない。IMFは、国家財政を安定させるために実勢レートで計上するよう、軍政に勧告した（11日付フィナンシャル・タイムズ）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

新たな発表はなし。

イベントなど

・ビルマの政治囚の釈放を求める署名活動 ビルマ政治囚支援協会、国民民主連盟（解放地域）日本支部ほか（原宿駅周辺、17日13時～）
☆署名活動は日本を含む世界32カ国で展開中。14日現在、31万以上の署名が集まっている。

・ロヒンギャ民族難民申請者 Z、L、N 各氏 難民の認定をしない処分取消等請求事件口頭弁論（福岡地裁303号法廷、19日10時半～）。終了後、福岡県弁護士会館2階で報告会あり。

・ロヒンギャ民族集団訴訟（難民不認定処分・退去強制令発付の取消などを求める）原告 H、A、J 各氏本人尋問（東京地裁709号法廷、20日14時～）

・上智大学アジア文化研究所公開講演会『難民キャンプの人類学：タイ・ビルマ国境カレンニー難民キャンプから』講師久保忠行氏（神戸大学大学院・日本学術振興会特別研究員）（上智大学2号館5階510会議室、22日18時～）

・メータオ・クリニック支援の会（JAM）現地看護師帰国報告会（JICA地球ひろば セミナールーム202号室、23日17時～）

・国民民主連盟（NLD）総選挙勝利記念デモ行進 NLD（解放地域）日本支部主催（港区六本木 三河台公園、27日14時集合）

・日本ビルマ救援センター「月例ビルマ問題学習会」宇田有三氏（大阪ボランティアセンター、29日19時～）

・【日程変更】第57回ビルマ市民フォーラム例会（池袋・ECOとしま8階、6月13日18時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165
